

【女性活躍・男女共同参画施策】 経営分析・事業分析報告書

2025年3月
総務市民局女性の輝く社会推進室

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状
 - (1) 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査など
 - (2) 「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見
 - (3) 「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント
- 3 課題の整理
- 4 課題への対応
 - (1) 「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ
 - (2) 令和7年度重点予算テーマ（女性政策）の取り組み
- 5 課題解決に向けたロードマップ

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状
 - (1) 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査など
 - (2) 「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見
 - (3) 「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント
- 3 課題の整理
- 4 課題への対応
 - (1) 「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ
 - (2) 令和7年度重点予算テーマ（女性政策）の取り組み
- 5 課題解決に向けたロードマップ

1 クラスターの目的・目標

結婚、出産、子育て、介護を迎えても、性別に関わらず個人が希望する形でキャリアの継続、向上を図り、働き続けられる社会を構築するため、仕事の継続や復職の意欲向上に向けた取組、働き方改革等を推進するとともに、あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画を拡大させ、男女共同参画意識が浸透した社会、地域の実現を目指す。

【関連事業】

- A 女性の視点を生かした課題解決・まちづくり推進事業
- B 女性に快適な環境整備(学校・公園トイレの改修・職場環境整備への助成等)
- C 女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業
- D 「働く親の子ども・子育て応援パッケージ」の推進
- E 男女共同参画センター管理運営事業
- F (公財)アジア女性交流・研究フォーラム事業

KPI①

北九州市の女性の年齢階級別就業率(25～44歳)

現状値(R4)	目標値(R10)
79.8%	82.0%

KPI②

社会全体における男女平等達成感

現状値(R4)	目標値(R10)
10.7%	15%

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状
 - (1) 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査など
 - (2) 「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見
 - (3) 「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント
- 3 課題の整理
- 4 課題への対応
 - (1) 「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ
 - (2) 令和7年度重点予算テーマ（女性政策）の取り組み
- 5 課題解決に向けたロードマップ

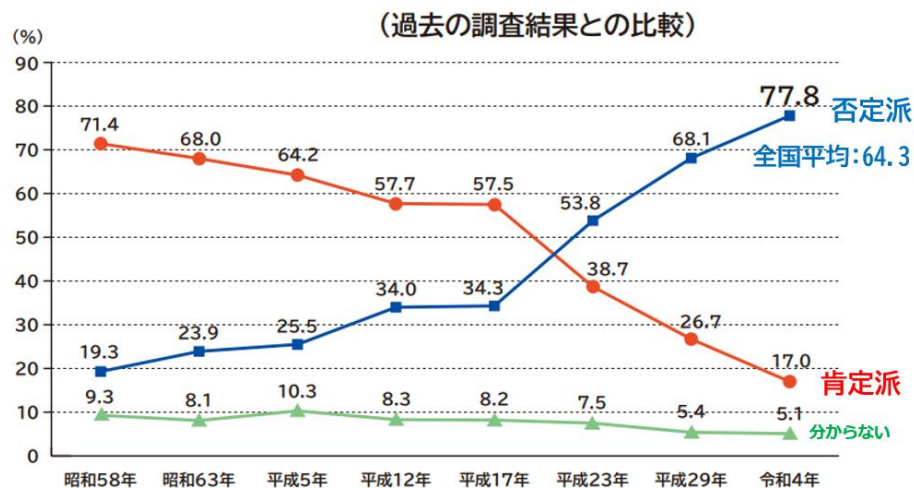
2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

令和4(2022)年 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査

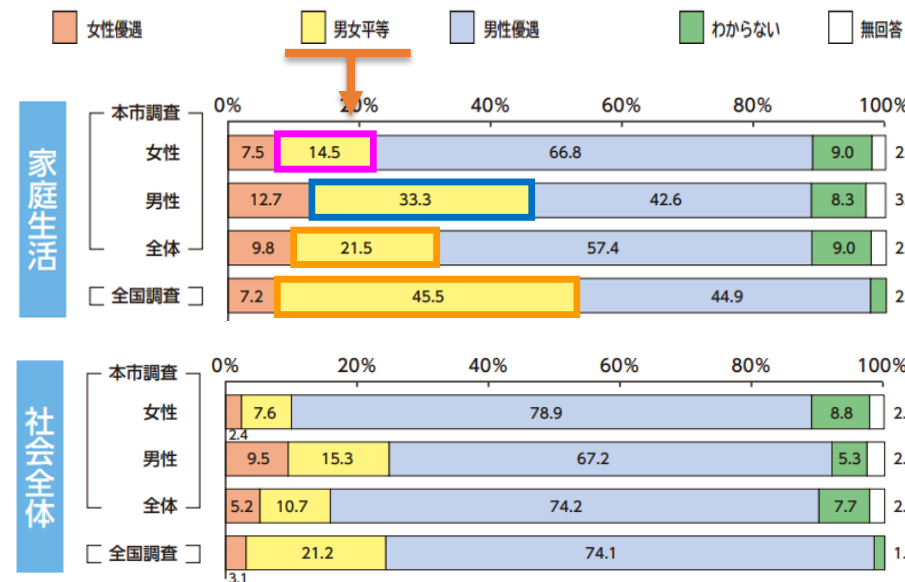
『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』という性別による固定的役割分担に否定的な考えを持つ人の割合が77.8%と、全国平均より高い結果となった。

その一方で、家庭生活などの分野における男女平等達成感は、男女差が大きく、また、全国平均より低い状況となっている。

Q『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』という考え方についてどう思うか？



Q「あなたは、次にあげる分野で男女は平等になっていると思いますか？」

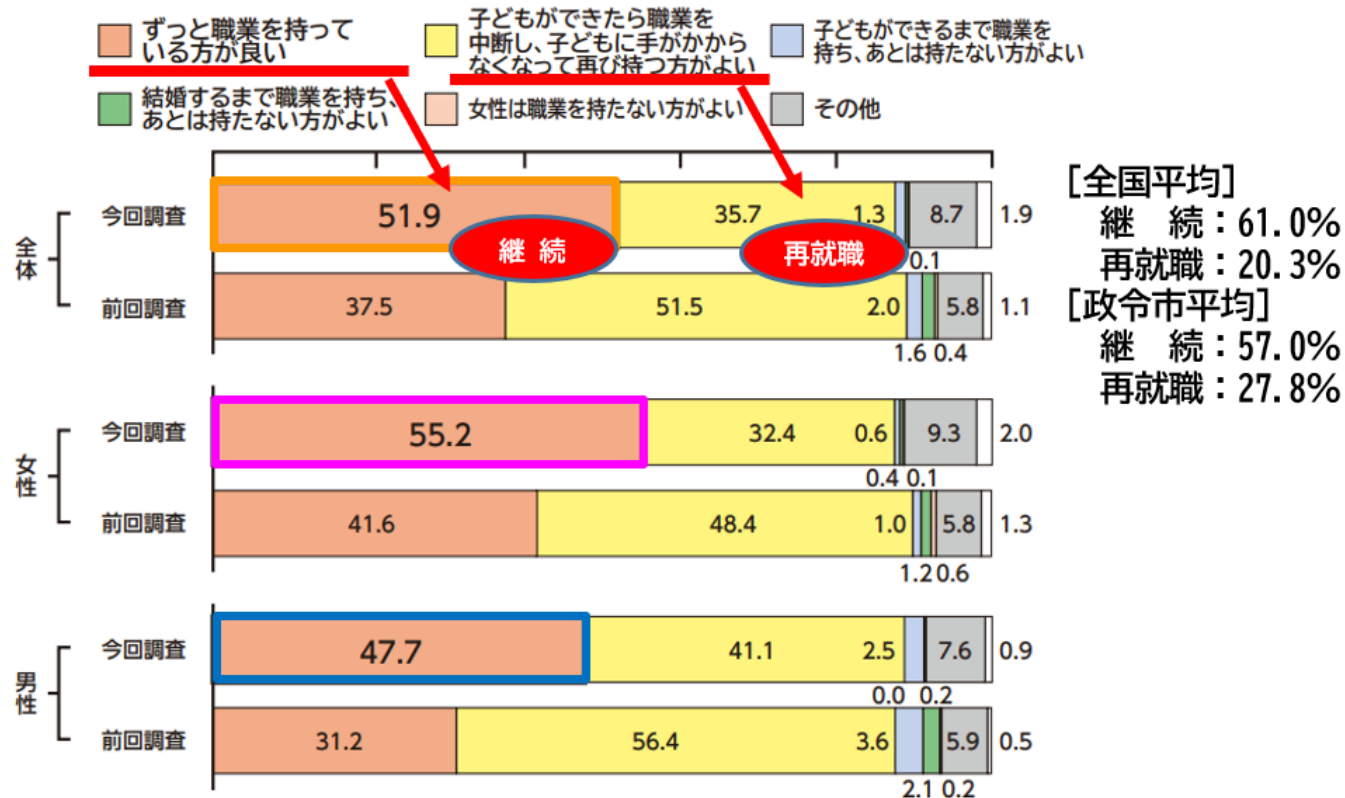


2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

令和4(2022)年 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査

女性が職業を持つことについて、「結婚や出産に関わらずずっと職業を持っている方がよい(継続型)」と回答した割合が「子どもができたらいったん職業を中断(退職)し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい(再就職型)」と回答した割合を上回り、全体で5割を超えた。なお、継続型は全国や政令市と比べると低い状況。

Q「女性が職業を持つことについて、どれが最も望ましいと思いますか？」

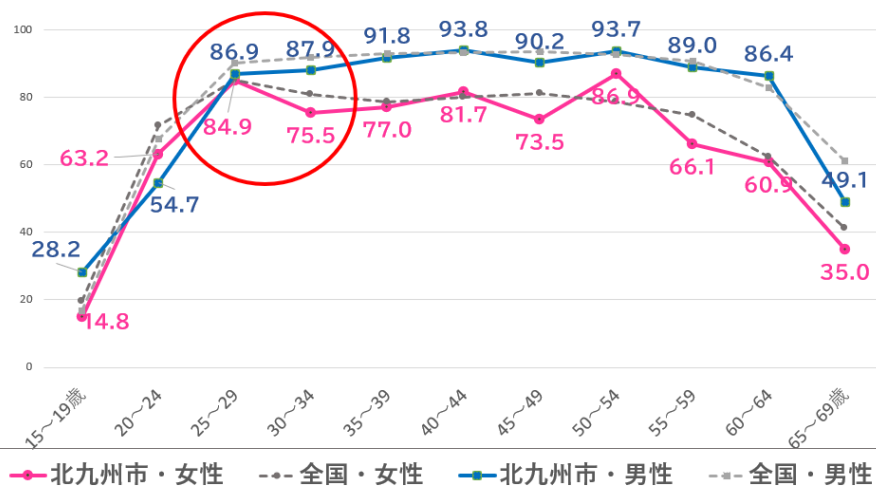


2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

令和4(2022)年 総務省「就業構造基本調査」

北九州市の年齢階層別就業率のグラフを見ると、25～29歳の階層は政令市9位であるのに対し、結婚や妊娠、出産を迎える30～34歳の階層は、全国や政令市の平均と比べ、低い状況(政令市18位)である。

○年齢階層別の男女の就業率(全国・北九州市)(M字カーブ)



○25～44歳の女性の就業率

	就業率	備考
全国平均	81.1%	
政令市平均	80.8%	
北九州市	79.8%	政令市13位

○年齢階層別の女性就業率(北九州市)

	政令市平均	北九州市	差	備考
25～29歳	85.1%	84.9%	▲0.2P	政令市9位
30～34歳	81.1%	75.5%	▲5.6P	政令市18位

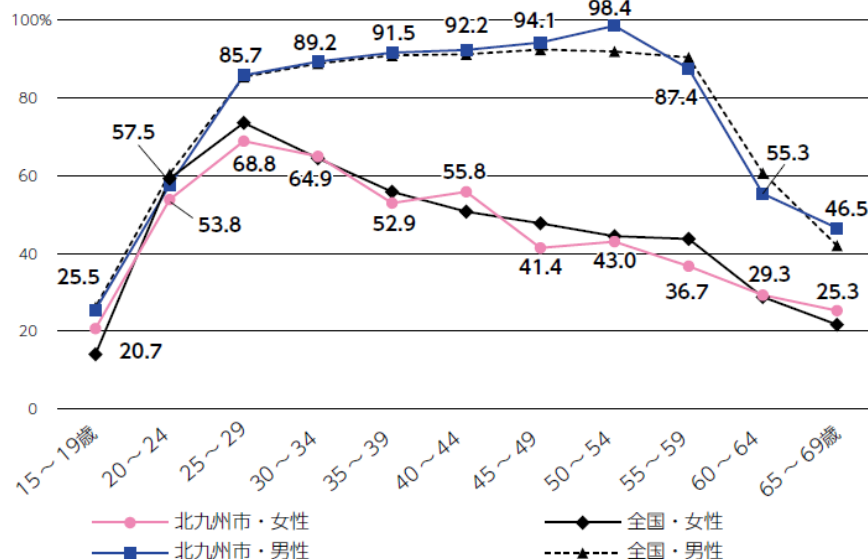
2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

令和4(2022)年 総務省「就業構造基本調査」

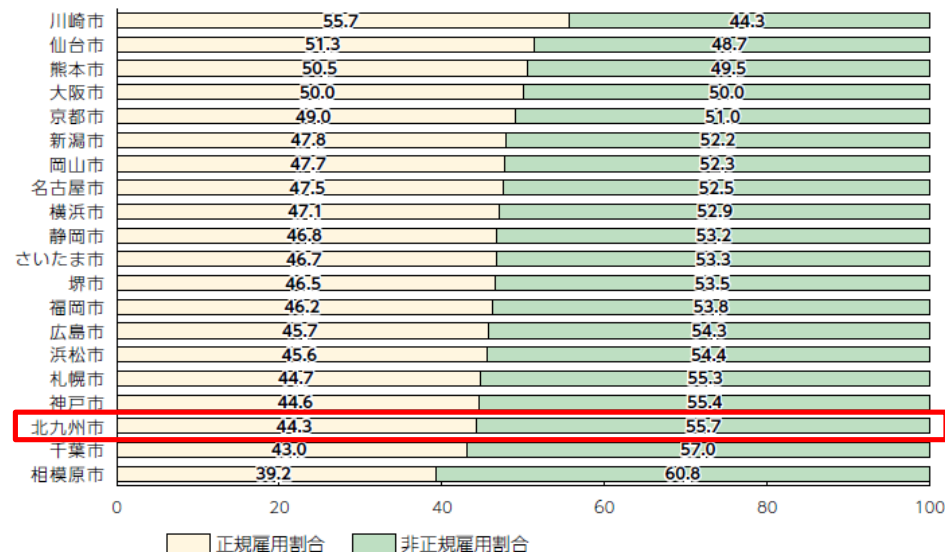
北九州市の女性の年齢階級別正規雇用比率をみると、25～29歳をピークに右肩下がりに低下する「L字カーブ」を描いている。

また、他の政令指定都市より正規雇用率が低い状況にある(政令市18番目)。

○年齢階層別正規雇用比率（全国・北九州市）（L字カーブ）



○女性の正規・非正規雇用の割合（20歳以上）

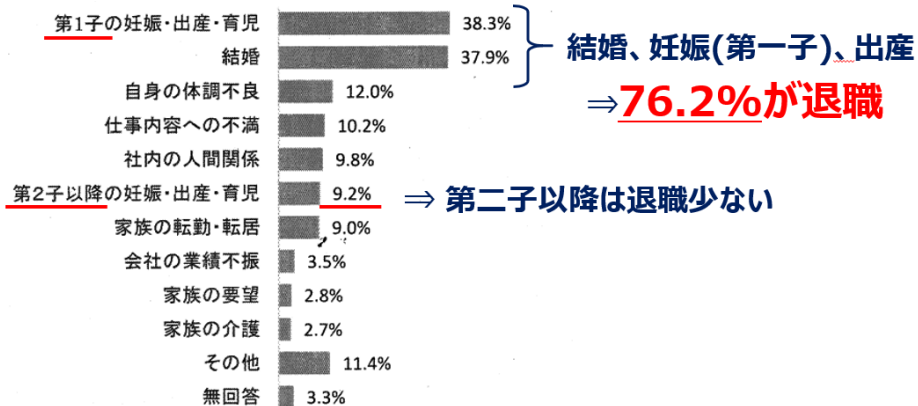


2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

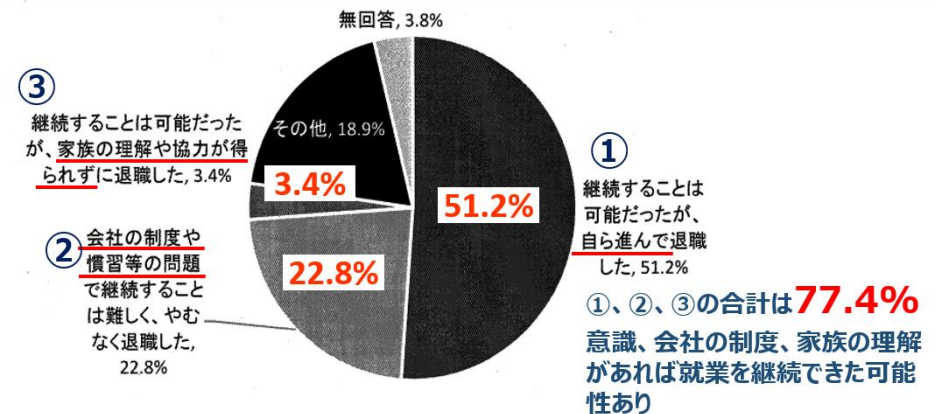
平成30(2018)年北九州市未就業女性の活躍戦略策定調査

女性が仕事を辞めた理由としては、第1子の出産・育児（38.3%）と、結婚（37.9%）を合わせると約8割となる。辞めたときの状況としては、「継続することは可能だったが、自ら進んで退職した」が5割を超え、「会社の制度や慣習等の問題」や「家族の理解や協力が得られない」を合わせると、約8割となる。

25～44歳の未就業の女性（以前は働いていた）が 仕事を辞めた理由とは？



25～44歳の未就業の女性（以前は働いていた）が 仕事を辞めた時の状況は？



2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

令和5(2023)年「アンコンシャスバイアスに関する市民意識調査」

R3に内閣府が実施した「アンコンシャスバイアス調査研究」と同様の市民意識調査を行ったところ、アンコンシャスバイアスの割合が高い項目を見ると、仕事や育児に関する男女の役割分担意識が全国より強いとの結果になった。

○「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合（上位5項目）

	北九州	九州	全国	北九州⇄全国 比較
①女性には女性らしい感性があるものだ	67.7%	64.7%	49.5%	18.2P
②男性は仕事をして家計を支えるべきだ	60.5%	59.9%	48.5%	11.5P
③女性は感情的になりやすい	57.3%	54.0%	36.1%	17.2P
④育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	46.6%	36.1%	31.2%	15.4P
⑤デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	32.6%	33.3%	31.2%	1.4P

2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

第11期「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見

柱Ⅰ：ジェンダー平等が浸透した社会の実現

- ・ジェンダーという言葉の認知度が高まっており、特に若い人には「男女共同参画」よりも「ジェンダー」のほうが分かりやすいと思う。
- ・男性の家事・育児参加は当然必要。それと同時に経済的役割についても、女性と男性が協同して担っていくことを認識すべき。
- ・子どもがキャリアを形成するうえで、ジェンダー平等の視点による学校教育の推進は重要。

柱Ⅱ：あらゆる分野の方針決定過程への女性の参画拡大

- ・付属機関等における女性比率については、引き続き50%を継続するとともに、各機関の長の女性比率についても考慮すべき。
- ・「政治分野への女性の参画拡大」は施策の方向の一つとして打ち出し、考えていくべき。

柱Ⅲ：女性が多様に活躍できる経済社会の実現

- ・大手企業はある程度、男女平等や女性活躍が進んだが、今後は市内企業の大部分を占める中小企業にいかに広めるかが課題。取組みを進めることが、会社の人材確保に有利になるという投げかけが重要。
- ・起業は継続することが重要であり、起業したことをゴールと捉えるのではなく、起業後の伴走支援が重要。

柱Ⅳ：仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

- ・男性職員の育児休業取得率は向上したが、今後は取得率だけでなく取得日数も目標に掲げてもらいたい。
- ・多様なライフスタイルに対応した子育てや介護等の支援の充実について、子どもの居場所の整備に向けての対策が急務。
- ・女性の労働市場への進出を図ることとともに、男性が家庭生活でもっと主体性を発揮する社会への変革を目指すことに言及すべき。

柱Ⅴ：安心して健康に暮らせる社会の実現

- ・SNSでの性被害の低年齢化が進んでおり、子どもたちに対して、SNSの危険性を伝えていく必要がある。
- ・DVには身体的暴力だけでなく、精神的暴力も含まれることを啓発し、市民の理解につながるよう取り組んでいただきたい。
- ・「生涯を通じた女性のヘルスケア支援」について、思春期の性に関する問題や性教育、女性に限らない幅広い取組み、特に若年層に関しての取り組んでももらいたい。

2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状

「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント

計画全般について

- ・これまで男女共同参画を推進してきたが、それ以前に生まれた人（特に男性）はまだまだ、男性優位の考えが頭の中にあり、ジェンダー平等とはほど遠い考えを持っている。

柱Ⅰ：ジェンダー平等が浸透した社会の実現

- ・ジェンダー平等教育は、保育園、幼稚園から小・中学校、高等学校に至るまで、いずれの過程でも各教科、学校行事に当たり、教育全般で進める必要がある。
- ・地域で暮らす高齢者（特に男性）にもジェンダー平等の研修会の機会を増やし、参加してもらえるように取り組んでもらいたい。

柱Ⅱ：あらゆる分野の方針決定過程への女性の参画拡大

- ・女性の政治分野への参画を促す講座等の開催については、北九州市の生涯学習の特色である三層構造（市全体の北九州市民カレッジ、区ごとの市民アカデミー、市民センター毎の講座）を利用するとよい。特に市民センターでの講座は自治区やまちづくり協議会の役職に女性を増やすことにつながり、政治分野への女性の参画に効果的である。
- ・地域における方針決定過程への女性の参画拡大により、担い手不足の解消とともに、異なる視点で新たな提案が生まれることに期待する。

柱Ⅲ：女性が多様に活躍できる経済社会の実現

- ・再就職支援では、前職のキャリアが活かされ、それに見合う収入を得られるような支援が必要。
- ・再就職しやすいよう、キャリアアップ支援や就職先のマッチング支援も必要。
- ・企業における男女の収入格差が縮まるよう考慮する必要あり

柱Ⅳ：仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

- ・中小企業や個人経営の店舗において、女性が主に担っている子育てや介護と仕事を両立できるような環境づくり、働き方改革に努める必要がある。
- ・今の子育て世代は、育児も家事も男女平等という考えが浸透しており、夫婦で協力して働き、家事や育児を頑張っている。すべての会社で男性が育休が取れるようにすべき。

柱Ⅴ：安心して健康に暮らせる社会の実現

- ・生涯を通じた女性のヘルスケア支援に仕事をするうえで必要。女性だけに限らず、心身が健康であることの大切さ、健康に関する知識、ケアの方法の浸透が今後の社会には必要。
- ・困難を抱えた女性への支援の体制について、周知を図るとともに、利用しづらさがないようにしてもらいたい。

数値目標について

- ・社会全体における男女平等達成感の目標を20%にすべき。

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状
 - (1) 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査など
 - (2) 「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見
 - (3) 「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント
- 3 課題の整理
- 4 課題への対応
 - (1) 「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ
 - (2) 令和7年度重点予算テーマ（女性政策）の取り組み
- 5 課題解決に向けたロードマップ

3 課題の整理

◆市民意識調査などから見えた課題

○性別による固定的役割分担に関する意識は改善傾向にあるものの、家庭生活など実態面における男女平等達成感は全国平均より低く、男女差も大きい。

○結婚や出産に関わらず、仕事を継続したいと希望する女性の割合は増加したが、25歳から44歳までの女性の就業率は、全国平均より低い。その理由の1つとして、結婚や第1子出産のタイミングで離職する女性が多い。

○離職する際、「継続することは可能だったが、自ら進んで退職した」が51.2%、「会社の制度や慣習等の問題」や「家族の理解や協力が得られない」の計は26.2%と、家族の理解や協力、企業の制度の不備などに課題があることが判明した。

○自ら進んで退職した女性については、その背景として、「男性は仕事で家計を支えるべき」や「育児中の女性は重要な仕事は担当すべきでない」などのアンコンシャスバイアス(無意識な思い込み)が影響している可能性がある。

・家庭生活、就業、育児など、女性施策をめぐる課題は多岐に渡る。

・女性施策を組織横断的・戦略的に進める必要あり。

対応

【縦割り→横断】

プロジェクトチームの立ち上げ

・女性活躍や男女共同参画の分野では、「意識」をすぐに変えることは難しい。

・今後は《意識改革》だけではなく、「行動」を変えること《行動変容》が必要。

対応

【意識改革→行動変容】

令和7年度重点予算テーマ(女性政策)の取り組み

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状
 - (1) 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査など
 - (2) 「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見
 - (3) 「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント
- 3 課題の整理
- 4 課題への対応
 - (1) 「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ
 - (2) 令和7年度重点予算テーマ（女性政策）の取り組み
- 5 課題解決に向けたロードマップ

◆「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ

今後の中長期的な女性政策のあり方等について、組織横断的に検討する体制を整備するもの

■女性政策推進プロジェクトチーム

○協議内容

女性政策の総合調整・中長期的な検討等

○構成員

- ・担当副市長 ・官民連携ディレクター ・総務市民局長
- ・関係局(政策局、財政・変革局、保健福祉局、子ども家庭局、産業経済局、都市ブランド創造局、都市整備局、教育委員会)部長 他
- ・総務市民局女性の輝く社会推進室長 [事務局:女性の輝く社会推進室]

■会議等の実施状況

- R6.10.15開催 第1回 R7重点予算(女性政策)検討ワーキンググループ会議
[議題:女性政策重点予算の情報共有、意見交換等]
- R6.11.7開催 第2回 R7重点予算(女性政策)検討ワーキンググループ会議
[議題:第1回WGを受けての整理(横ぐし)案、追加事業説明等]
- R7.2.6開催 第1回 女性政策推進プロジェクトチーム会議
[議題:北九州市の女性政策の進め方、現状・課題(頭出し)等]

■令和7年度重点予算テーマ（女性政策）

関係各局によるワーキンググループ会議において、施策の情報共有および連携について検討

【ワーキンググループ会議における主な意見】

第1回会議（R6.10.15開催）

- ・各セクションの施策を共有し、よりブラッシュアップあるいは整理し、上手く全体をプレイスメントして、全体として「女性のチャレンジを応援するまち」を目指すべき。
- ・各事業が、ステップ1（意識啓発）、ステップ2（女性支援）、ステップ3（行動変容）のうち、どのステージに位置付けされているかを考えると、全体としてステップ1や2のあたりに留まって、ステップ3までいっている事業は少ない印象。現時点ではステップ3につながる手がなくても、今後につながるような取組みを加味すべき。
- ・それぞれの部局がやっている事業をどのように横ぐしをさして分かりやすく伝えていくか、北九州市が女性活躍に理解があって、住みやすい都市だということをどのように伝えていくか、予算でどのように打ち出していくかを考えていかなければならない。

第2回会議（R6.11.7開催）

- ・前回と比べて様々な事業が新たに加わった。ワーキンググループで検討した事業も今の段階では確定ではなく、今後変更したり、査定の対象となったりするが、最終的には全体の状況を見ながら考えていく。
- ・局間の連携については、似たような事業をやっている印象があるので、そこはしっかり協議を進めてもらいたい。
- ・各事業をライフステージごとにグルーピングしているが、政策を立てる上でどのような成果を目指していくのかということを、今後、プロジェクトチームの中で中長期的に議論をしていきたい。

令和7年度重点テーマ「女性が『自分らしく』輝けるまち」

令和7年度重点テーマ「女性が『自分らしく』輝けるまち」

Step① …意識啓発

Step② …支援

Step③ …行動変容

働く親への支援を充実

子家

[新]「送迎保育ステーション試行事業」
・保護者の送迎負担軽減の効果検証実施

子家

[新]「保育人材雇用支援事業」
施設が保育補助者等を雇用する費用の補助を拡充

子家

[拡]「第2子以降の保育料無償化拡充」
多子世帯の子育てを支援するため、
保育料の無償化を拡充

子家

**[拡]「放課後児童クラブの
長期休暇等利用者支援事業」**
長期休暇期間における保護者の負担軽減のため
8時前の受入を促進。昼食提供支援を拡大。

働く女性の“キャリア”を応援

産経

**[拡]「企業変革スタートアップ・
グロスサポート事業」**
・フェムテック系スタートアップ伴走支援

子どもの“未来”を応援

教育

連携：産経

[新]「KitaQ Girls Techプロジェクト」
・女子生徒の理系人材育成を応援

子どもの頃からの学び

教育

**[新]「学校トイレ洋式化100%大作戦」
「リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業」**
・学校の和式トイレの洋式化(3ヵ年計画)
・産前産後の女性教員の就労支援と健康増進

子家

[拡]「シン子育てファミリーサポート事業」
・育休復帰前後の期間(1年間)を
利用料金無償化でサポート

結婚・出産

総務市民

[新]「パパ育休ファーストステップ応援奨励金」
・中小企業の男性育休取得を促進
夫婦最初の“共育て”のきっかけを支援

就職・起業

産経

[新]「みらいのわたし応援事業」
・女性のコミュニティづくり
・ロールモデルとの出会い
・企業とのミートアップ

技監

[新]「明日の公共事業を支える若手女性技術者の確保・育成事業」

建設業に女性活躍の視点を取り入れ、建設業の魅力発信、担い手確保を図る

産経

連携：教育

[拡]「スタートアップ起業家育成サポート事業」
・女性起業家との交流機会の創出
(起業マインド醸成)

女性の“リスキリング”を応援

産経

[新]「女性の実践型リスキリング」
・デジタルスキルの習得・就業支援

再就職・学び直し

産経

連携：女輝

**[新]「北九州発！
女性が輝くリーディングカンパニー創出事業」**
・女性が働きやすい職場環境の整備
・女性活躍に向けた専門家のコンサルティング

政策

**「女性の視点を生かした
都市課題解決推進事業」**
・アイデア提言プロジェクト「Woman Will」北九州
→女性の視点をいかした都市課題発見・解決
→次世代女性リーダー育成

保福

連携：産経、女輝

**[新]「女性にやさしい社会づくりに向けた
ウーマンヘルスケア推進事業」**
・女性の健康に配慮した職場環境の推進
→実態調査(月経に関するアンケート)
啓発資料の作成と広報
・女性自身の変更への関心とリテラシー向上
→若年者向けセミナーの開催
→民間事業所と連携した検診

都市整備

[新]「女性目線の快適なトイレ空間の整備」
「汚い、暗い」などのイメージのある公園トイレについて、
女性の声を聴き、安心・快適に利用できるトイレ空間整備を検討

企業の“成長”を応援

女性採用・職場環境改善

目次

- 1 クラスターの目的・目標
- 2 本市における女性活躍・男女共同参画の現状
 - (1) 北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査など
 - (2) 「北九州市男女共同参画審議会」委員の主な意見
 - (3) 「男女共同参画基本計画（素案）」に対する主なパブリックコメント
- 3 課題の整理
- 4 課題への対応
 - (1) 「女性政策推進プロジェクトチーム」の立上げ
 - (2) 令和7年度重点予算テーマ（女性政策）の取り組み
- 5 課題解決に向けたロードマップ

北九州市が目指す 女性を応援するまち

課題

- 家庭生活での男女平等感
➡女性14.5 男性33.3%
- 育児を主に担っているのは？
➡女性71.1% 男性3.3%
- 共働き世帯の家事・育児時間
➡女性は男性の3.1倍(4h32m)
- 女性の就業
➡希望87.6%>現状79.8%
- 男性の育休取得
➡希望80.1%>現状36.6%
- 中小企業の人材・人手不足

step1 意識啓発

- ワークライフバランス推進
- イクボス推進
- ジェンダー平等の理解を進めるための広報・啓発

step2 女性支援

- ウーマンワークカフェ北九州
- 女性のはたらく応援事業
- キャリア形成、子育てとの
両立支援

step3 行動変容

- 女性の目線で変革
女性のチャレンジを応援

具体的施策

「女性政策推進PT」
にて検討

目指す姿

- 家庭、職場、地域など、社会全体でジェンダー平等を実感できるまち
- 誰もが働きがいを感じながら、安心して働くことができるまち
- 人材を育てる企業が成長できるまち

5 課題解決に向けたロードマップ(スケジュール)

